

感染症情報

8月17日～23日(第34週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

新型コロナウイルス感染症

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★	↓	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	↓	食中毒がみられます
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★	↓	減少傾向です
⑫	ヘルパンギーナ	★★	↓	減少傾向です
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★	↓	減少傾向です
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★		
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	→	まれにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★	↓	まれにみられます
⑳	その他のかぜ症候群	★★	↓	パラインフルエンザウイルスは減少傾向です

現在大きく流行している感染症はありません。毎年今の時期は「手足口病」を中心とした「夏かぜ症候群」が多くみられますが昨年に続き今年も少ないようです。

「溶連菌感染症」「新型コロナウイルス感染症」は少ないですがコンスタントにみられています。新型コロナウイルスも数年間夏場の流行がありました。今年も少ないようです。

他には食中毒と思われる細菌性の「感染性胃腸炎」もまだみられます。ご注意ください。

「パラインフルエンザウイルス感染症」ですが減少傾向です。高熱とひどい咳嗽が続く場合があります。

今後秋にかけて増加が予想されるのは「RSウイルス感染症」と「マイコプラズマ感染症」です。昨年はかなり大きな流行でしたが今年はどうなるでしょうか。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある